

株式会社田中製作所

鳥取県鳥取市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

顧客を起点に価値を提供。積極的な設備投資と技能伝承で事業を将来へつなぐ

同社は精密金属プレス金型の設計製作及び情報通信機器用金属プレス部品等を製造する。金型も独自に開発・生産し、付加価値の高い部品を提供できる体制を整えている。営業拠点として、国内に鳥取本社及び末恒工場（鳥取市）、東京技術センター、海外に上海鳥取田中精密電子有限公司（中国）を持ち、分野を問わず大手メーカーを中心に部品を納入している。経営理念である「HEARTテクノロジー」に基づき、真心をこめた技術で人と社会に必要とされるものづくりに挑戦している。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 鳥取県鳥取市気高町宝木1562-132 | ● 設立 | 1965年 |
| ● 電話/FAX | 0857-82-3355/0857-82-1006 | ● 資本金 | 4,500万円 |
| ● URL | http://www.heart-tanaka.co.jp/ | ● 従業員数 | 124人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 田中 道男 | | |



顧客ニーズに基づく製品提供を常に徹底

効果的な設備投資とともに、少量多品種生産やオーダーメイド生産等の顧客ニーズに機動的な対応ができる体制を敷く。同社の「工房のような」生産現場では、鳥取県から高度熟練技能者と認定されたマイスターや国の技能検定に合格した技術者が数多く在籍する。いかに付加価値の高い製品を提供するかを常に意識し、業務へ従事している。また、東京都の関連会社へ技術に知見のある従業員を常駐させ、顧客ニーズを収集して技術開発部門と連携し、技術提案できる体制を整備することで付加価値向上を図る。



TQC全社発表会で品質改善の成果を共有

積極的な設備投資と最適な人員配置で生産体制を確立

作業者の負担軽減及び作業時間短縮による効率化や安全性確保のため、積極的に設備投資を実施している。最近では、作業用ロボット「ゲンコツロボット」を導入し、他の設備と連動させることで作業工程の自動化、前後の工程改善による3名から1名への省人化や単位当たり作業時間の約67%短縮を実現する。加えて、従業員のジョブローテーションによって多方面の業務知識習得、作業工程の熟知や各工程への最適人員配置が可能となった。これらにより、特にライン作業で効率的な流れを確立できたのである。



自動化されたプレス加工ライン

マルチタスク化と技能伝承で推進する将来へ向けた人材育成

同社は多方面の製造を手掛けることで幅広い製造分野を持っており、柔軟な社内応援体制構築が不可欠である。現在、1人の従業員が複数の業務を担当できるよう、職務拡大を計画的に実施中であり、設備自動化・ロボット導入と連動することによる多台持ちも推進している。また、ベテラン従業員が持つ技能（工程設計・工程運用）を社内スクールやOJTで若手社員に伝承・共有。若手社員の自主自立を促し、ひいては責任ある仕事を任せられることでのモチベーション向上にもつなげ、中長期での人材育成を図っている。



最も力を入れるのは「人づくり」